

主な出来事

【内政】

- 国民議会選挙の延期
- 森林経済・漁業・環境大臣のUN除籍
- ジャン・ピンによる国民対話の開催

【外政】

- ブルンジ副大統領によるガボン訪問
- ボンゴ大統領による国賓訪中
- EU選挙監視団によるガボン大統領選挙に係る最終報告書の発表
- CEMAC臨時首脳会合の開催
- 第32回EU及びACP合同議会会議の開催：ガボンに係る決議案の否決

【経済】

- ガソリン・軽油価格の上昇
- AFDによるトランスガボン鉄道改修に係る融資

【内政】

1 包摂的な国民対話に向けた意見交換の開催

2日、イソゼ首相は与野党関係者を招集し、包摂的な国民対話の実施に向けた意見交換を行った。新民主主義（DN）、鍛冶工全国連盟（UNAF）、発展と自由のための連合（UDL）、独立国民のエネルギー（EPI）、オメガ・サークル（Cercle OMEGA）、新しいガボンのための同盟（ANG）が出席した。（3日付UN）

2 国民議会選挙の延期

3日、ランベール・マタ内務・安全・公衆衛生大臣は、2016年8月末の大統領選挙によって生じた暴動による不測の歳出を理由に、憲法裁判所は同年末に予定されていた国民議会選挙の延期を決定し、2017年7月29日までに同選挙を実施する旨発表した。（5日付UN）

3 ジャン・ピンによるICCへの証拠書類の提出

15日、ジャン・ピン側弁護士は、8月31日の大統領選挙暫定結果発表後、ガボン治安当局によって市民に対し人道に対する罪が行われたとして、国際刑事裁判所（ICC）に対して新たに証拠書類を提出した。ICCは、9月末からガボンの大統領選挙期間中の暴力行為に関する予備調査を開始しており、今般ジャン・ピン側から提出された追加書類を調査し、審理実施の有無を判断する。（15日付RFI）

4 森林経済・漁業・環境大臣のUN除籍

16日、エステル・オンド森林経済・漁業・環境大臣（国民連合（UN）第4副議長）は

党規則違反を理由に、UNから除籍された。(17日付UN)

5 ジャン・ピンによる国民対話の開催

19-23日、ジャン・ピンによる国民対話が開催され、野党、労働組合、NGO、市民社会他が出席した。23日の閉会式において、ジャン・ピンは近日中に宣誓就任を行い、国民会議「真実と和解」の実施、ガボン殉職者の記念碑の建設、制度改革に向けた国民対話の実施、保健、教育、社会保障、道路建設、社会住宅に係る改革を行う旨発表した。(25日付GR)

6 DN党首によるジャン・ピン支持の撤回

23日、8月の大統領選挙においてジャン・ピンを支持したルネ・ンデメゾ・オビアン新民主主義(DN)党首は、ジャン・ピン支持を撤回し、訪問したウォレウ・ンテム州の住民に対してアリ・ボンゴ大統領の呼びかける国民対話に参加するよう要請した。同党首の決定により、副議長5名及び複数名の党員が離党した。(27日付UN)

【外政】

1 ブルンジ副大統領によるガボン訪問

1日、ブルンジ大統領特使としてガボンを訪問したガストン・シンディムラ・ブルンジ副大統領は、アリ・ボンゴ大統領と会談した。(2日付UN)

2 ボンゴ大統領による国賓訪中

6-9日、アリ・ボンゴ大統領夫妻は国賓として訪中し、習近平国家主席、李克強首相、張徳江・全国人民代表大会常務委員会委員長と会談したほか、ガボンに進出する中国企業代表者と懇談、中国国際貿易促進委員会(CCPIT)及びガボン国立投資促進庁(ANPI)主催の経済投資フォーラムに出席し、広東省汕頭市の経済特区を視察した。(9日付UN, 10日付GR)

3 EU選挙監視団によるガボン大統領選挙に係る最終報告書の発表

12日、EU選挙監視団によるガボン大統領選挙に係る最終報告書が発出された。同報告書には司法官と行政との従属関係の廃止、内務省、独立常設選挙委員会(CENAP)、憲法裁判所及び国家通信委員会(CNC)の透明性の確保、国際・国内選挙監視団の役割明記、選挙期間中及び選挙後の表現の自由の保障に向けたインターネット接続の確保、ソーシャル・ネットワーキング・サービスへのアクセスの保障等11の勧告が記載されている。(17日付UN)

4 CEMAC臨時首脳会合の開催

23日、ピヤ・カメルーン大統領の呼びかけにより、ヤウンデにて開催された中部アフリカ経済通貨共同体(CEMAC)臨時首脳会合に、アリ・ボンゴ大統領が出席し、中部アフリカ地域の経済・通貨状況を考察したほか、同地域の石油・治安危機に係る対策が採択された。(24日付UN, 24日付GR)

5 第32回EU・ACP合同議会会議の開催：ガボンに係る決議案の否決

21日、ナイロビにおいて開催された第32回EU・アフリカ・カリブ海・太平洋諸国(A

CP) 合同議会会議において、ガボン側及びEU側から提出されたガボン大統領選挙後の状況に係る2つの共同決議案が投票にかけられ、両決議案とも否決された。ガボン側提案の決議案には、与野党間の対話の実施及びEU選挙監視団の越権行為について、EU側提案の決議案には、選挙プロセス全般の欠陥について記載されていた。(26日付UN, 26日付RFI)

【経済】

1 ポロレ・グループによるオウエンド港拡張事業投資

11月29日、ポロレ・グループ・アフリカ港湾事業専務取締役は、フラヴィエンヌ・ムフム・オンド交通・物流大臣と会談し、同大臣に対し、GPM (Gabon Port Management) 社及び三井物産と連携したオウエンド港コンテナターミナルの拡張事業への投資意欲を再度表明した。本拡張事業の推定総額は900億CFAフラン(約180億円)であり、250メートルの埠頭を建設するほか、7.5ヘクタールの埋立てを実施するほか、官民の物流関係者と協力してコンテナクレーン及び最新式のコンテナヤードが設置される。(1日付UN)

2 ガソリン・軽油価格の上昇

ガボン石油・炭化水素省は、2015年5月付法令適用により、ガソリン価格は1リットル555CFAから565CFAに、軽油は480CFAから495CFAに上昇する旨発表した。(5日付UN)

3 2016年上半期原油生産量・石油収入の発表

2016年上半期国内原油生産量は、シェル、ペレンコ等のオペレーターの生産量減少により前年に比べ0.2%下落の577万トン、輸出量は1.4%上昇の545万トンを記録した。また、2016年6月末の石油収入は、石油価格の下落を理由に、前年に比べ57.9%下落した。(5日付, 6日付UN)

4 AFDによるトランスガボン鉄道改修に係る融資

15日、レジ・イモンゴ・タタガニ経済・計画・開発計画大臣、仏開発庁(AFD)ガボン・サントメ・プリンシペ地域事務所長及び在ガボン仏大使は、全長710キロに亘るトランスガボン鉄道改修に係る610億CFAフラン(約122億円)の融資協定に署名した。総費用2,170億CFAフランをかけて同計画が実施され、同計画により一日の列車運行本数が8便から倍増し、首都リーブルビル及びガボン内陸の交通・通信状況が改善される。(16日付UN)

出典:PR(大統領府公式HP),UN(ユニオン紙),GM(ガボン・マタン紙),GN(ガボン・ニュース電子版ニュース),AFP,GA(Gabonactu.com),GR(ガボン・レビュー電子版ニュース),LG(ル・ガボン電子版ニュース),GE(ガボン・エコ電子版ニュース),AFP(フランス通信社),GL(ガボンリーブル電子版ニュース),AFI(アフリカ・エネルギー・インテリジェンス),LP(LOUP紙),EN(エコー・ノール紙)